

新光ブラジル債券ファンド

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資することによって、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指すことを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年6月9日～2020年12月8日

第137期	決算日：2020年7月8日	
第138期	決算日：2020年8月11日	
第139期	決算日：2020年9月8日	
第140期	決算日：2020年10月8日	
第141期	決算日：2020年11月9日	
第142期	決算日：2020年12月8日	
第142期末 (2020年12月8日)	基準価額	1,277円
	純資産総額	23,709百万円
第137期～ 第142期	騰落率	△5.2%
	分配金合計	60円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

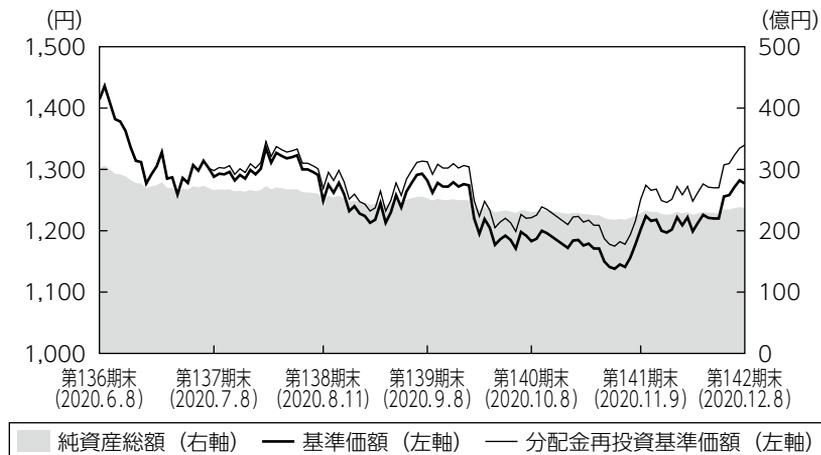
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第137期首： 1,414円
 第142期末： 1,277円
 (既払分配金60円)
 騰落率： △5.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ (以下、ブラジルボンド・ファンド) 投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、債券市場は堅調となったものの、ブラジルリアルが対円で軟調となったことから基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期 (2020年6月9日 ～2020年12月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	8円	
(投信会社)	(3)	(0.245)	
(販売会社)	(5)	(0.384)	
(受託会社)	(0)	(0.025)	
(b) その他費用	1	0.063	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.063)	
(監査費用)	(0)	(0.000)	
合計	9	0.717	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

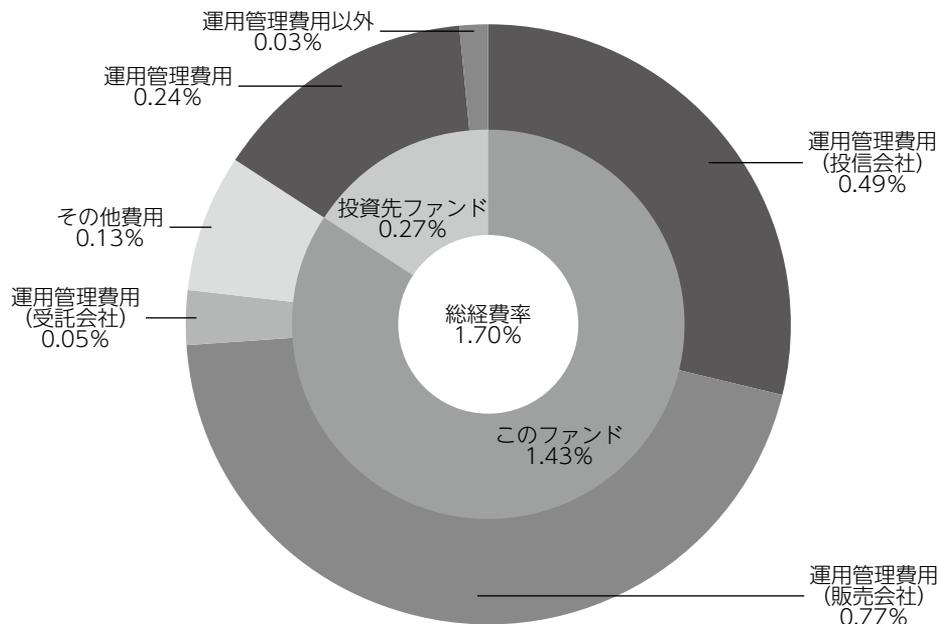
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	1.43%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

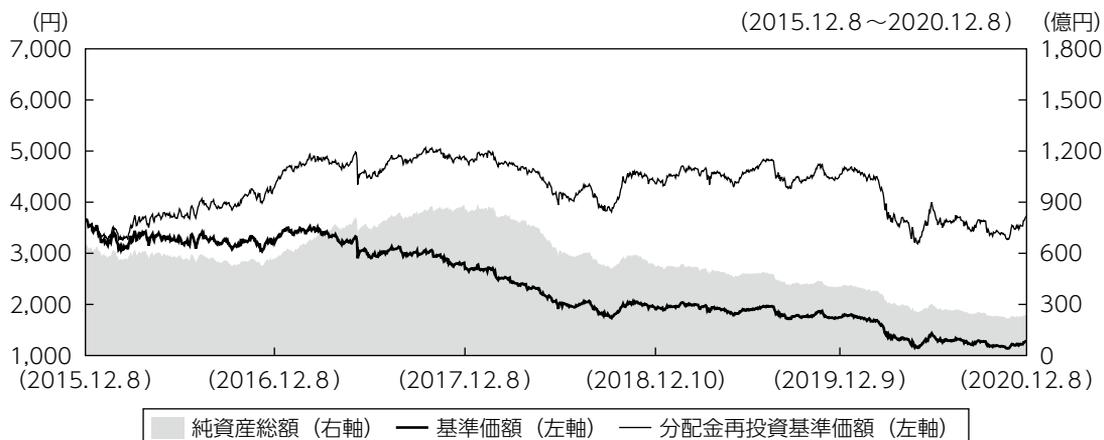
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年12月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

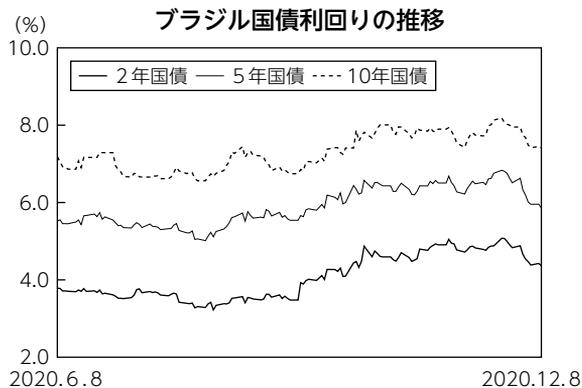
		2015年12月8日 期首	2016年12月8日 決算日	2017年12月8日 決算日	2018年12月10日 決算日	2019年12月9日 決算日	2020年12月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	3,678	3,200	2,703	1,908	1,747	1,277
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	950	900	545	240	160
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	16.5	12.8	△9.8	4.1	△17.9
純資産総額	(百万円)	65,491	56,206	85,282	52,037	40,448	23,709

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

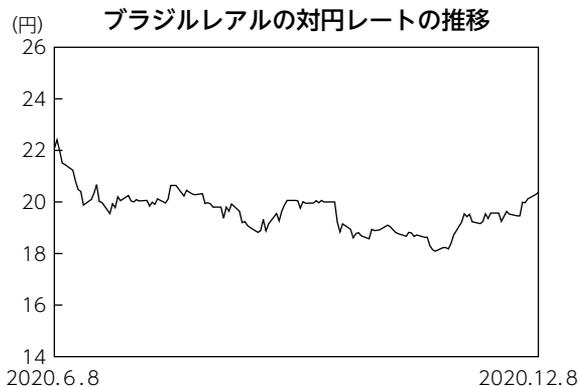
●ブラジル債券市場

作成期初は、低金利政策を背景に堅調となりましたが、財政への懸念やレアル安などから軟調な展開となりました。その後、ボルソナロ大統領が新型コロナウイルスの経済対策で実施している給付金の延長に対して否定的な見解を示したことなどから反発し、作成期末を迎えました。



●為替市場

ブラジルレアルは、景気の回復が見られたことが下支え要因となった一方、低金利政策の継続や、将来的な財政への懸念などを背景に対米ドル、対円ともに下落する流れとなりました。作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発に対する期待が高まったことや財政に対する懸念が後退したことなどから下落幅を縮小しました。



●短期金融市場

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

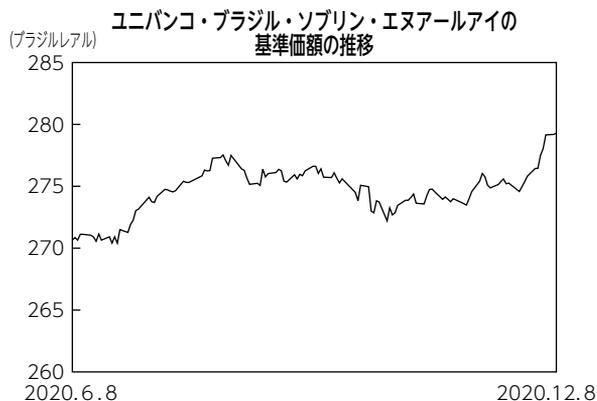
■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

資金動向に応じてブラジル債券・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジル債券・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

● ブラジル債券・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。当作成期間においては、引き続き物価連動債を中心にポートフォリオを構築しましたが、債券市場の値動きの荒い可能性を考慮し、変動金利債券の組み入れを引き上げました。デュレーションは将来の財政への懸念も考慮し、前作成期末と比較して短期化しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

● 短期公社債マザーファンド

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2020年6月9日 ~2020年7月8日	2020年7月9日 ~2020年8月11日	2020年8月12日 ~2020年9月8日	2020年9月9日 ~2020年10月8日	2020年10月9日 ~2020年11月9日	2020年11月10日 ~2020年12月8日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.77%	0.79%	0.77%	0.84%	0.83%	0.78%
当期の収益	10円	10円	10円	10円	10円	10円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	964円	965円	969円	970円	973円	977円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジル債券・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジル債券・ファンド

ブラジル経済は、新型コロナウイルスの景気への影響を見定める必要があるものの、過去最低水準にある政策金利などが景気の下支えになると考え、緩やかながらも景気が回復すると見込まれます。債券市場に関しては財政政策に注視する必要がありますが、緩和的な金融政策が維持されると見られ底堅い動きを想定しています。

引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。

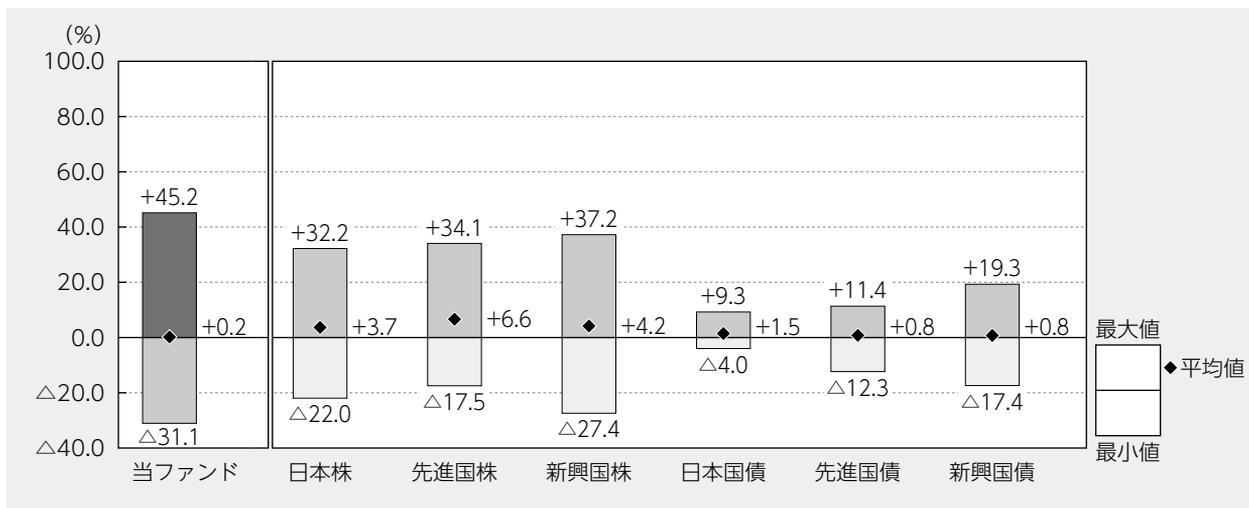
●短期公社債マザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用を目指していきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光ブラジル債券ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行います。 ブラジル籍外国投資法人 ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券（ブラジルリアル建） 内国証券投資信託（親投資信託） 短期公社債マザーファンドの受益証券
	ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券	ブラジルリアル建てのブラジル国債
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ブラジル債券・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年12月～2020年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年12月8日現在）

◆組入ファンド等

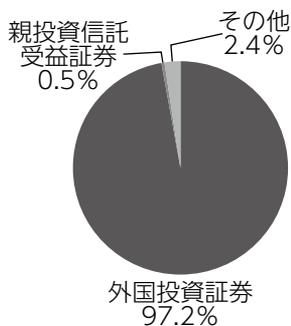
（組入ファンド数：2ファンド）

	第142期末
	2020年12月8日
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	97.2%
短期公社債マザーファンド	0.5
その他	2.4

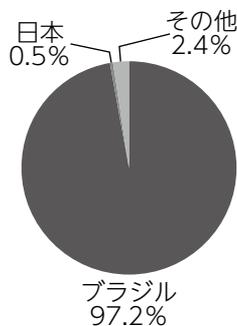
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

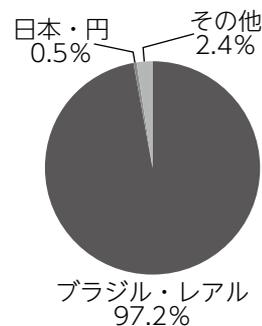
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

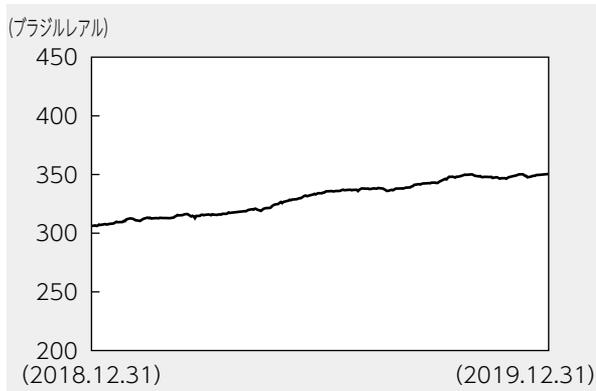
項目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2020年7月8日	2020年8月11日	2020年9月8日	2020年10月8日	2020年11月9日	2020年12月8日
純資産総額	26,618,912,701円	25,152,870,365円	25,303,829,462円	23,041,889,272円	22,870,356,316円	23,709,391,076円
受益権総口数	206,703,762,960口	201,382,603,981口	197,375,542,687口	194,724,532,333口	190,286,165,954口	185,652,578,586口
1万口当たり基準価額	1,288円	1,249円	1,282円	1,183円	1,202円	1,277円

（注）当作成期間（第137期～第142期）中における追加設定元本額は2,473,380,645円、同解約元本額は29,910,057,983円です。

組入ファンドの概要

[ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ] (計算期間 2019年1月1日～2019年12月31日)

◆基準価額の推移



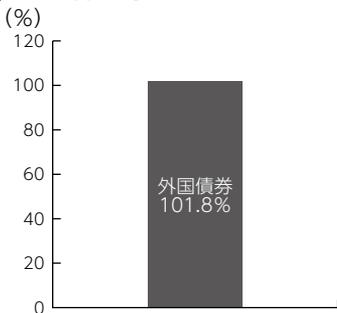
◆組入上位10銘柄

銘柄名	利率	償還年月日	比率
NTN-B (物価連動国債)	6.00%	2022/8/15	25.5%
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2020/8/17	18.8
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2026/8/17	10.4
LTN (割引国債)	-	2021/4/1	9.4
LFT (変動金利国債)	-	2023/3/1	5.5
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2050/8/15	4.8
NTN-F (利付国債)	10.00	2027/1/4	4.6
LFT (変動金利国債)	-	2023/9/1	3.9
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2045/5/15	3.9
LFT (変動金利国債)	-	2021/9/1	3.2
組入銘柄数	26銘柄		

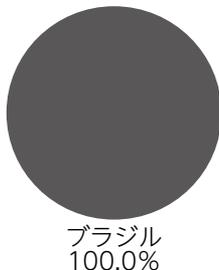
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆資産別配分



◆国別配分



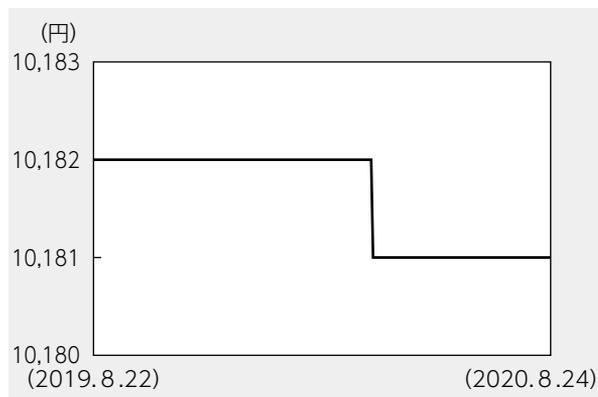
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの計算期間のものであります。また、当期における分配金を再投資したのとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの決算日現在の状況を表示しております。
- (注3) 組入上位10銘柄、国別配分、通貨別配分の比率は、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの組入公社債に対する評価額の割合です。
- (注4) 資産別配分は、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類および、イタウ・ユニバンコ・エス・エーのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【短期公社債マザーファンド】（計算期間 2019年8月23日～2020年8月24日）

◆基準価額の推移



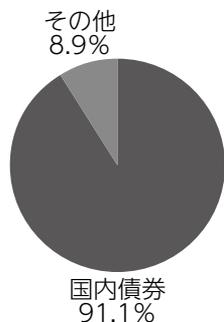
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
9 6回 共同発行市場公募地方債	日本・円	76.0%
2 7年度3回 千葉市公募公債	日本・円	11.1
2 2年度9回 千葉県公募公債	日本・円	4.0
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
組入銘柄数	3銘柄	

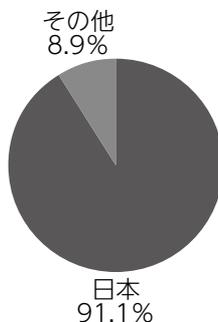
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

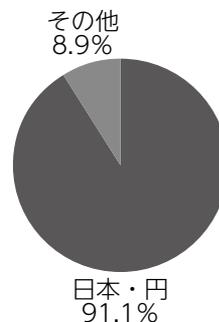
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

